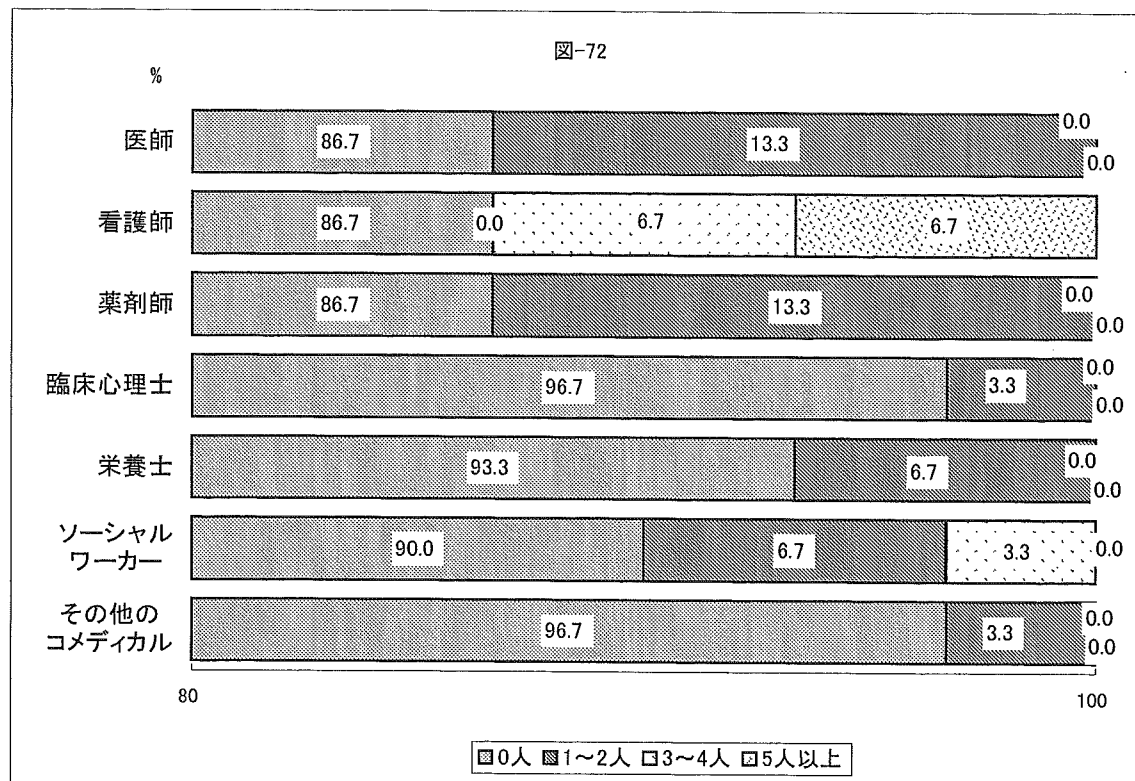


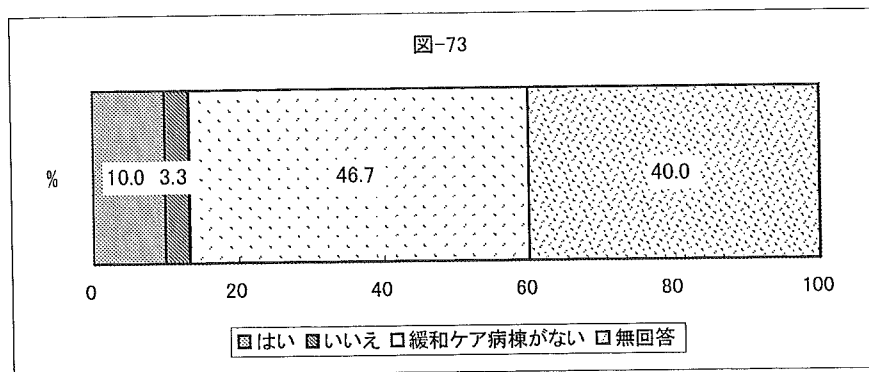
72. 上記(問107)の緩和ケアチームの構成メンバー

回答		0人	1~2人	3~4人	5人以上	合計
医師	N	26	4	-	-	30
	%	(86.7)	(13.3)	-	-	(100)
看護師	N	26	-	2	2	30
	%	(86.7)	-	(6.7)	(6.7)	(100)
薬剤師	N	26	4	-	-	30
	%	(86.7)	(13.3)	-	-	(100)
臨床心理士	N	29	1	-	-	30
	%	(96.7)	(3.3)	-	-	(100)
栄養士	N	28	2	-	-	30
	%	(93.3)	(6.7)	-	-	(100)
ソーシャル ワーカー	N	27	2	1	-	30
	%	(90.0)	(6.7)	(3.3)	-	(100)
その他の コメディカル	N	29	1	-	-	30
	%	(96.7)	(3.3)	-	-	(100)



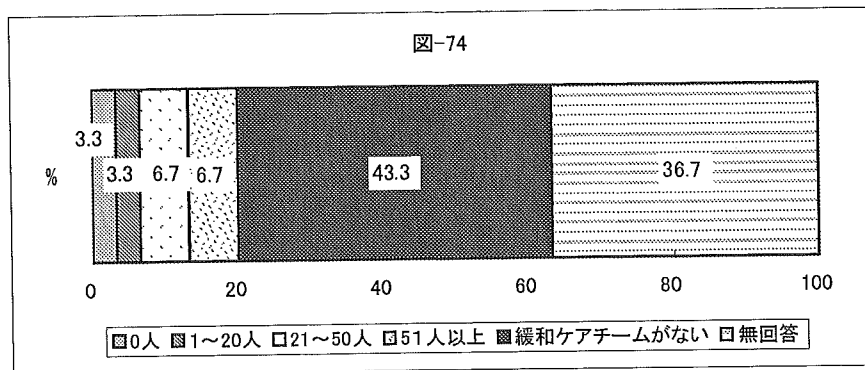
73. 【緩和病棟がある場合】緩和ケア病棟以外の入院患者に対して、緩和ケアの専門性を有するスタッフが必要なサービスを提供している、あるいはコンサルテーションをしている

回答	はい	いいえ	緩和ケア病棟がない	無回答	合計
N	3	1	14	12	30
%	(10.0)	(3.3)	(46.7)	(40.0)	(100)



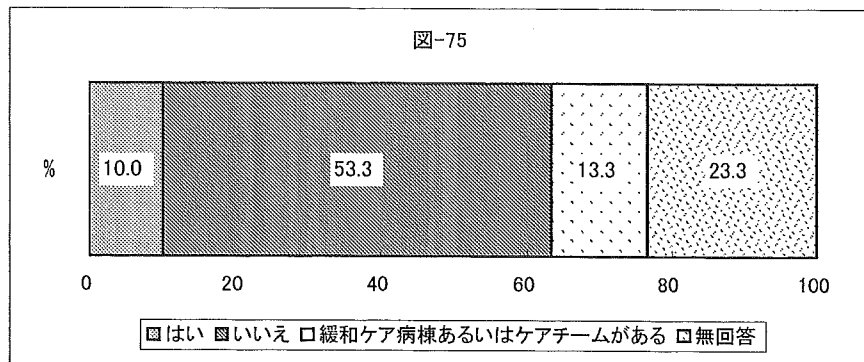
74. 院内で組織された緩和ケアチームが疼痛管理サービスを提供した患者数

回答	0人	1~20人	21~50人	51人以上	緩和ケアチームがない	無回答	合計
N	1	1	2	2	13	11	30
%	(3.3)	(3.3)	(6.7)	(6.7)	(43.3)	(36.7)	(100)



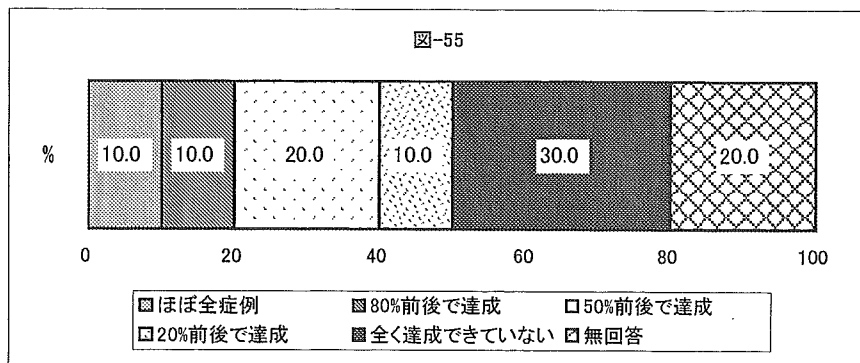
75. 【緩和病棟および緩和ケアチームがない場合】入院患者に対して、緩和ケアの専門性を有するスタッフが必要なサービスを提供している、あるいはコンサルテーションをしている

回答	はい	いいえ	緩和ケア病棟 あるいは ケアチーム がある	無回答	合計
N	3	16	4	7	30
%	(10.0)	(53.3)	(13.3)	(23.3)	(100)



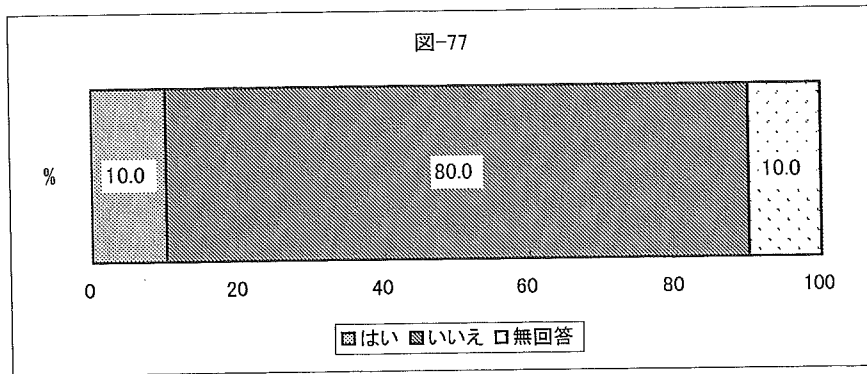
76. 患者との死別前から、家族や大切な人に対するケア計画が立てられている

回答	ほぼ全症例	80%前後で 達成	50%前後で 達成	20%前後で 達成	全く達成で きていない	無回答	合計
N	3	3	6	3	9	6	30
%	(10.0)	(10.0)	(20.0)	(10.0)	(30.0)	(20.0)	(100)



77. 精神ケアの資格を持ったスタッフが、緩和ケアチームに参加している

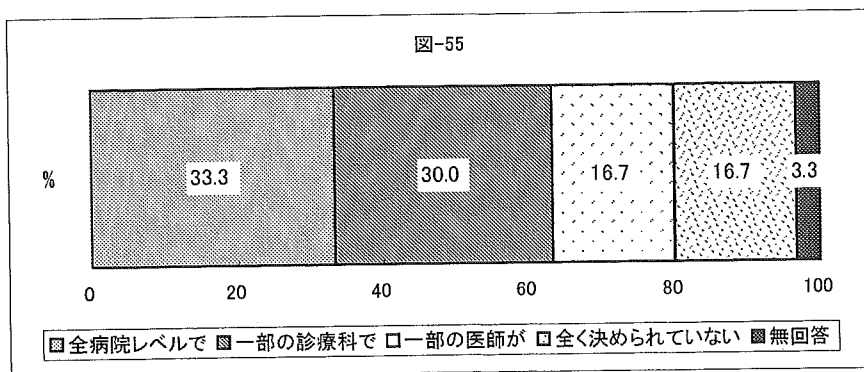
回答	はい	いいえ	無回答	合計
N	3	24	3	30
%	(10.0)	(80.0)	(10.0)	(100)



5.9 疼痛ケア

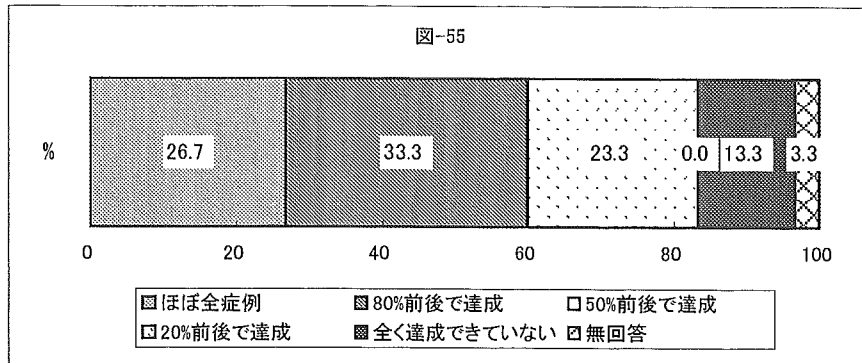
78. 疼痛および除痛効果の統一的な評価基準が、決められている

回答	全病院レベルで	一部の診療科で	一部の医師が	全く決められていない	無回答	合計
N	10	9	5	5	1	30
%	(33.3)	(30.0)	(16.7)	(16.7)	(3.3)	(100)



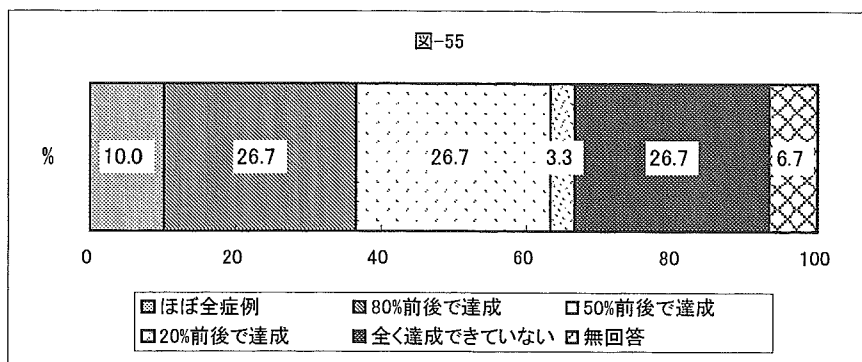
79. WHOがん疼痛治療法を基礎とした疼痛治療が実施されている

回答	ほぼ全症例	80%前後で達成	50%前後で達成	20%前後で達成	全く達成できていない	無回答	合計
N	8	10	7	-	4	1	30
%	(26.7)	(33.3)	(23.3)	-	(13.3)	(3.3)	(100)



80. 評価基準・評価の時期・評価者を決めて、疼痛治療に伴う副作用と副作用コントロールを評価している

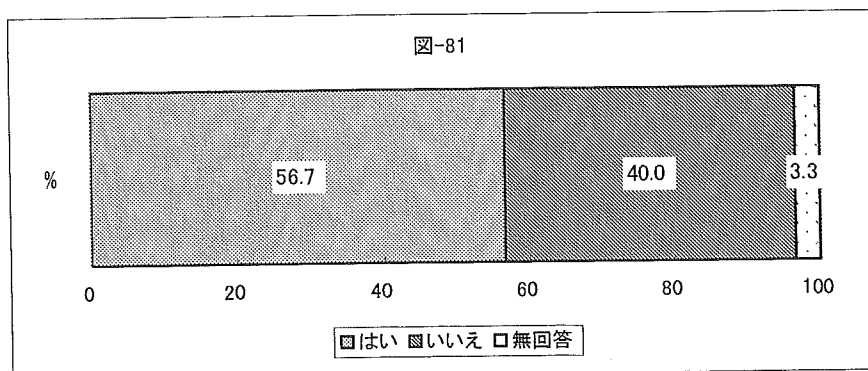
回答	ほぼ全症例	80%前後で達成	50%前後で達成	20%前後で達成	全く達成できていない	無回答	合計
N	3	8	8	1	8	2	30
%	(10.0)	(26.7)	(26.7)	(3.3)	(26.7)	(6.7)	(100)



5.10 薬剤部

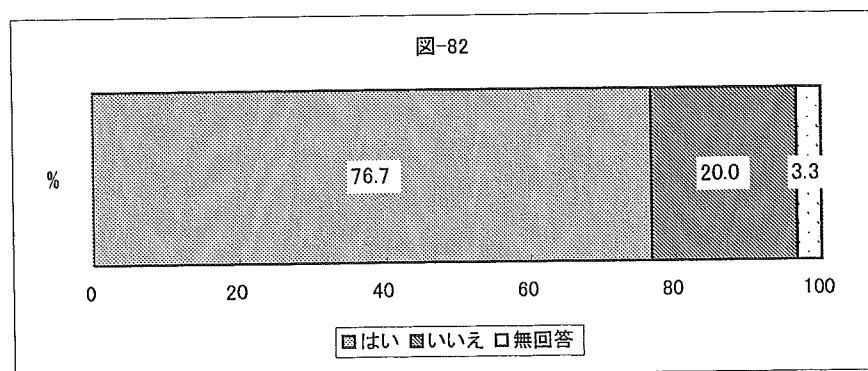
81. 安全キャビネットを用いて、抗がん剤の混合調剤を行っている

回答	はい	いいえ	無回答	合計
N	17	12	1	30
%	(56.7)	(40.0)	(3.3)	(100)



82. 抗がん剤の混合調剤を行う際に、薬剤師が処方内容の監査を行っている

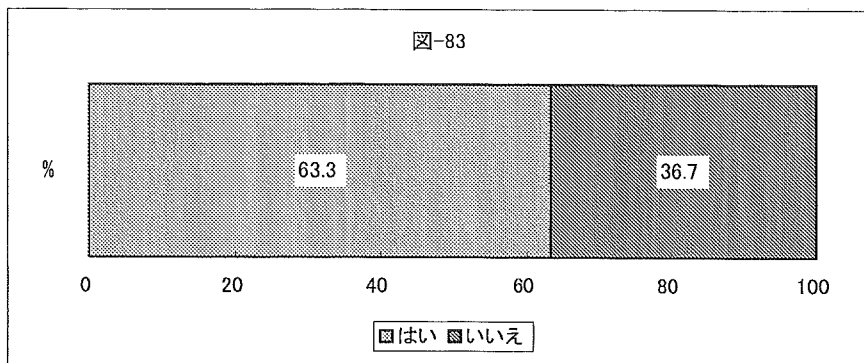
回答	はい	いいえ	無回答	合計
N	23	6	1	30
%	(76.7)	(20.0)	(3.3)	(100)



5.11 栄養サポートチーム

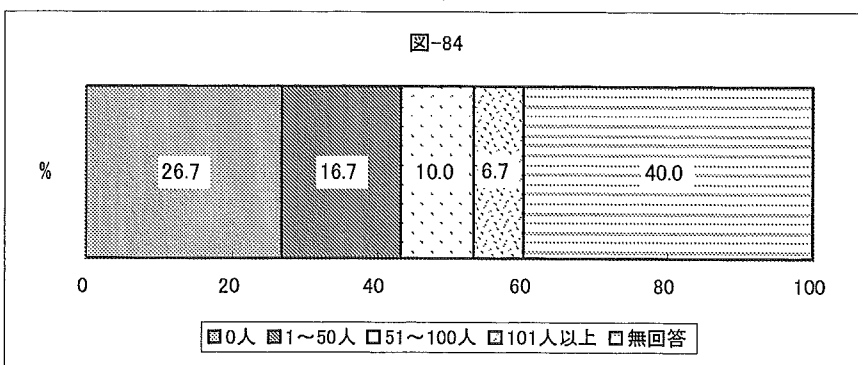
83. 院内に、栄養/水分摂取に関して患者・家族・主治医に協力する、多職種から構成される栄養サポートチームがある

回答	はい	いいえ	合計
N	19	11	30
%	(63.3)	(36.7)	(100)



84. 平成17年1月～12月に栄養サポートチームが関与した年間患者数

回答	0人	1～50人	51～100人	101人以上	無回答	合計
N	8	5	3	2	12	30
%	(26.7)	(16.7)	(10.0)	(6.7)	(40.0)	(100)



1. Commission on Cancer. Cancer Program Standards 2004. Chicago: American College of Surgeons; 2003.
2. Commission on Cancer. Cancer Program Standards 2004. Chicago: American College of Surgeons; 2003.
3. 日本医療評価機構ホームページ <http://jcqhc.or.jp/html/about.htm#syushi>
4. 特定非営利活動法人ヘルスケア・リレーションズ. 「がん患者が求める医療情報の提供について」
<http://www.hcrm.net/main/jyohoteikyo20051210.html> (2006年4月3日アクセス)